



節	対戦相手	H/A	試合結果	監督談話
1	J.FC MIYAZAKI	A	● 1 - 4	平成最後の九州サッカーリーグ開幕にあたり、素晴らしいピッチを用意して頂きました関係者ならびに、会場設営および運営等をしていただいた沖縄県サッカー協会の皆様、海邦銀行と沖縄SVの皆様へ感謝申し上げます。
2	日本製鉄大分	H	● 0 - 3	スポーツカレッジとしては、6年ぶりの九州リーグでした。緊張以上にわくわくと興奮して開幕戦を戦いました。誰にもバテてはいないと思いますが、開幕戦前半途中で鼻血が出るというアクシデントがありました。結果は、2連敗という結果でした。選手は初めての九州リーグで戸惑いがあったように感じました。早く九州リーグに慣れて、持ち前の力を出し切って欲しいと思います。まずは、一勝（勝点3）を取るために頑張ります。どうぞ、今シーズンよろしくお願い致します。
3	九州三菱自動車	A	● 1 - 2	2連敗通しの対決で、絶対に勝ち点が欲しかったが取れなかった。連敗の後で、自信を無くしかけていた部分もあったが、少しずつリーグに慣れてきたように感じた。次節まで、時間が有るので、良い準備をして自分達のサッカーを貫き通して、チームの成熟度を高めていきたい。九州三菱自動車の関係者、福岡県サッカー協会の皆さま、運営ありがとうございました。
4	熊本県教員蹴友団	H	● 0 - 2	ホーム開幕戦で、今季初の勝ち点を狙って臨んだ試合だったが、相手の思うつぼにはまり、相手ペースで主導権を握られ先制を許した。後半巻き返しを計ったが、もう一步のところまで点を取ることができず、追加点を許した。内容は、良くなってきているし、少しずつ戦手も慣れてきた。あとは、勝ち点だけ。沢山の方々の応援ありがとうございました。
5	川副クラブ	A	● 1 - 3	連敗の中、なんとしても欲しかった勝点3だったが、今回も取りきれなかった。個人としては、それなりに出来るようになったが、チームとしては、まだ時間が掛かりそう。基本技術と運動性が物足りない。次節はホーム戦なので、強い気持ちを持って臨みたい。今回、運営して頂いた川副クラブ、佐賀LIXILの皆さんと佐賀県サッカー協会の方々に感謝いたします。
6	NIFS KANOYA FC	H	○ 3 - 1	リーグ開幕5連敗で、自信を失いかけていた中、絶対負けられない試合であった。前半を先制して折り返すも、コミュニケーションが上手く取れず、自分たちのミスからピンチを招く場面があり、修正を促し後半を迎えた矢先、失点し同点にされる。しかし、選手は全員で声を出し合い、攻撃のリズムが良くなっていった。結果的に初の勝ち点を取れたことは、選手の自信に繋がったはず。さらに精度が上がればもっと良くなっていくはず。この勢いを大事にして連勝を目指したい。今回も、沢山の応援と差し入れを頂き、ありがとうございました。
7	佐賀LIXIL	A	● 2 - 5	前節初の勝ち点を挙げ、勢いに乗りたかったLIXIL戦。今季最悪のゲーム内容になった。個人では頑張っているものの、組織だったプレーがチームとして出せなかった。お互いのコミュニケーションを取る場面も少なく、自分たちのミスから失点。前期残り2試合。サッカーが出来る事への感謝、応援に来てくれた方々の気持ちに応えられるプレーを期待したい。佐賀LIXILの関係者、カレッジOBの皆さん、今日はありがとうございました。
8	沖縄SV	H	● 0 - 4	結果的に共に0-4と大敗しました。失点パターンが、クロスボール対応とゴール前での粘り、スライド等、課題が多く残りました。その他、ゲーム中のコミュニケーションを増やさないとチームの向上はないと感じています。前期を最下位で折り返しましたが、後期巻き返しを図る為、課題を修正し後期を迎えたいと思います。厳しい状況ではありますが、失敗も成功も選手の経験になっています。
9	海邦銀行SC	A	● 0 - 4	最後まであきらめずに、学生らしい元気の良いサッカーを観てもらえるよう頑張りたいと思います。両日とも、応援、差し入れを頂いた保護者、関係者に厚く御礼申し上げます。また、大分県社会人員会、別府溝部学園・鶴見高校サッカー部の皆様へ大会運営ありがとうございました。



節	対戦相手	H/A	試合結果	監督談話
10	J.FC MIYAZAKI	H	● 0 - 3	<p>前期をリセットして臨んだ試合だったが、試合開始 1 1 分、自陣ペナルティエリア内でクリアミスから失点。</p> <p>その後 C K から失点。次の得点次第では自分たちが有利になりそうであったが、3 点目を取られて終了。試合全体を通して、十分戦えたゲームだったと感じた。</p> <p>大分ダービーで、チームとしても負けられない試合であった。</p> <p>前半から度々チャンスを作るも 1 得点で前半終了。後半、相手に得点を許すと流れが一気に変わり、1 - 3 で試合終了。</p>
11	日本製鉄大分	A	● 1 - 3	<p>細かいミスが、命取りになる。自陣でのプレー（クリアの質）、ボールを奪う所と体を寄せる所の判断、ワンタッチ or ツータッチ、足元なのかスペースなのか。</p> <p>小さいミスマッチがチームの流れを左右する経験を選手は、感じているはず。もう一つ、殻を破れば、、、。</p> <p>沢山の応援と差し入れも頂き、感謝しております。早く「勝利」という形で、喜んで頂けるよう頑張っていきます。</p> <p>佐賀集中開催という事で、佐賀県サッカー協会をはじめ、LIXILさん、川副さんお世話になりました。ありがとうございました。</p>
12	九州三菱自動車	H	● 0 - 1	<p>絶対に負けられない試合だった、、、</p> <p>惜しいところまでは、やれてる。各々あと一歩が出せれば、状況は変わる。負けが込むと、雰囲気も良くなる、自信もなくなる、逃げたくなる。</p> <p>そんな時こそ、初心を思い出す事、向き合う事。自身が成長できるチャンスに変えて欲しい。やればできることを経験してほしい。</p>
13	熊本県教員蹴友団	A	● 1 - 2	<p>アウェイでのゲームであったが、ゲームの入り自体は、悪くなかった。が、今一歩波に乗れず、チャンスも決めきれなかった。</p> <p>チームとしては、少しずつ良くなってるのは確かだが、勝ち切るまでは、もう少し時間が掛かりそう。</p> <p>だがリーグは待ってくれない。段々と違うプレッシャーを背負いながらの試合になってくる。個人がチームが成長してほしい。</p>
14	川副クラブ	H	△ 1 - 1 (PK4-2)	<p>お盆休みを挟んで臨んだ川副戦。これ以上負けが許されない、プレッシャーのかかる試合であった。</p> <p>前半に自分たちのミスから失点してしまい、嫌な流れになったが、その後は自分たちのサッカーが、出来た。</p> <p>同点に追いつき逆転できるチャンスがあったが、詰めの甘さで逆転することができなかった。</p> <p>可能性を信じて、残り 4 試合を戦っていきたい。沢山の応援、差し入れありがとうございました。</p>
15	NIFS KANOYA FC	A	● 0 - 9	<p>残り 1 試合も落とせない試合であったが、最後は集中が切れてしまった。自分たちのミスから失点し、チャンスも決めることが出来なかった。</p> <p>3 試合を残して、九州リーグ降格が決定してしまった。非常に残念だが、残りの試合を次に向けて、大事に戦いたい。</p> <p>鹿児島県サッカー協会、鹿屋体育大学の皆さん、運営ありがとうございました。また、沢山の応援と差し入れを頂き感謝申し上げます。</p>